

合格体験記 【小学校】

滋賀県 A.S.さん (教育文化専攻)

はじめに

私が小学校教員を志望するようになったのは、小学生の時からです。当時、友達関係で悩んでいた私は、担任の先生をみて私も人を温かく見守れるような大人になりたいと思ったからです。大学に入るまでなかなか揺るがなかった、この教員になる夢も、いざ大学で様々なことを経験し、様々な場所でたくさんの人と出会い、社会人になる自覚が芽生え始めると「このままの道を進んでいいのかな」と考えることもありました。そのたびに大きくなるのは、教員として私はやっていけるのかという不安ですが、同時に人とのつながりの強さを実感し、私も子どもたちのつながりを築いていけるようになりたいと初心に戻ることができ、小学校教員を目指す志を改めて強く持つようになりました。

地域・校種・職種などの選択について

生まれ育った滋賀県で、これからも家族の側で暮らして少しでも孝行をしていきたいという思いがあり、滋賀県以外を志望する選択肢は考えていませんでした。しかし、他府県を併願する方法も他大学の友達に聞くと少なくないようです。併願を挑戦するのであれば、早めに情報を集めて対策を練ることをおすすめします。

校種に関しては、私は小学校の教員免許の他に、特別支援学校や中・高の英語の教員免許も取得しましたが、小学校の実習で得た課題と喜びからもっと小学生と向き合いたいと思い、小学校教員を志望しました。

試験までのこと

私の大学生活は、人とのつながりを大切にして様々な経験をし、全力で楽しむということがモットーでした。4週間にわたる基本実習のある3回生の時は下宿をしましたが、1, 2, 4回生は副免許で授業の詰まる中、片道2時間をかけて通学を続けたり、週に3日の部活やサークル、夕方からはバイトをしたりと、生活や遊びに一生懸命でした。教員採用試験勉強は、3回生の10月頃に参考書は買いましたがモチベーションが上がらずに手が付けられずにいました。3回生の3月まで部活に全力で、実際に本気で勉強を始めたのは4回生の4月からでした。それまでも縦と横のつながりで情報を得たり、「教職セミナー」に参加したりと、意識だけは持つように努めていましたが、いざ勉強を始めてみると危機感は果てしなく続くものなので、もっと早く始めておけばよかったと何度も後悔をする羽目になりました。

私は大学推薦選考も受けさせていただきましたが、通ることはできませんでした。初めから当てにしないようにと強く思っていたつもりでしたが、実際に選考から落ちると自信

も失い、つらかったです。しかし、試験に落ちるとこれ以上につらいものだと考えると、試験勉強も気を引き締めて改めて頑張ることができました。

試験勉強といっても、何から始めたらいいのかわからずにただ焦ることになると思います。筆記試験勉強は、私は東京アカデミーのセサミノートを中心に勉強しました。過去問の出題傾向を見て、出る範囲をチェックし、答えをひたすらオレンジペンで空欄に埋めていく作業をしました。何度も赤シートで隠して覚えることを続けると、問題集にスムーズに移ることができました。集団討論・面接の対策は、詳しくは下記にありますが、まずノートを作るところからのスタートです。討論・面接・小論文で役に立つネタ帳として活用できるように工夫してみてください。練習は、友達とグループを作って何度も練習をします。横のつながりを大切に頑張ってください。

1 次試験本番

2020年度教員採用試験

▶筆記試験（小論文・一般教養・教職教養・小学校全科）…7月7日（日）

▶集団面接・集団討論・意見発表…7月13日（土）or14日（日）（受験日は受験番号によって指定されます。）

【小論文】

対策の段階では、教育実践論の先生のアドバイスを大切に、35分間で600字書く練習を重ねては、先生に添削していただきます。上記のノートを活用しながら、「このテーマならあれを書こう」と考えられるようになるまで固めていけると良いと思います。

また、実際に書くとき、小論文は型を意識して考えをまとめる時間が大切です。本番でも、メモをして考えをまとめる時間、実際に文章にして書ききる時間をうまく配分して、落ち着いて書けるように頑張ってください。

【集団面接・集団討論・意見発表】

部屋を移動することなく一つの部屋で、7～8人程度で行われます。

集団面接では、最初に「1分間スピーチ」を行います。なぜ教員を志望するのか、などというテーマをその場で出され、挙手をして1分間で話します。本番では改めて考える時間はないので、あらかじめ過去問から、「このようなテーマが出たら自分ならこう答える」と1分間で話せるように何度も練習をしてきた手札から繋げられるようにします。先輩の話では、自己PRも含めるように、との指示が今まではあったそうですが、今年はそのような指示もありませんでした。私は焦るくらいならこれまでの積み重ねてきた練習の成果を発揮しようと努めました。過去と本番は変わるのだという意識を持っていると、その時その場になって焦ることなく対応できると思います。

集団討論は、1つのテーマについてそのグループで15分間話し合うものです。滋賀大

の仲間と練習してきたような雰囲気・流れにはならないと思っておくと落ち着いて発言ができると思います。今年は話の流れの方向付けをすることが禁止されましたが、人の話をしっかり聞き、ここぞという場面が来た時に感じよく発言ができるといいと思います。

意見発表は、与えられた質問について、自分の考えを1分程度で述べるというものです。質問の意図を考えながら、小論文や集団面接・討論のために培ってきた自分の思いや考えの核となるものにつながるように考えると、考えはまとまりやすくなると思います。

2次試験までのこと

一次試験が終わると、気持ちを切り替えて二次試験対策にすぐに移ります。私は2次試験が終わるまで一喜一憂することなくできるところまでやり切りたいという思いから、筆記試験の自己採点もせず、一次試験のことは一度すべて忘れるように努めていました。

過ごし方は、夏休みということで友達とご飯に行くなどの息抜きもしつつ、友達と励まし合いながら対策に打ち込んでいました。市民プールへ泳ぎに行ったり、模擬授業を協力して考えたり練習をしたり、面接の練習を聞き合ったりしていました。

模擬授業は、突然生活科や家庭科が対象外になり、焦りましたが、私は算数を選択する何人かの友達と手分けをして過去問の範囲を網羅しようと6学年分の指導案を考えてノートにためていきました。教科書の流れを把握したうえで、口癖などの注意すべきところを互いに評価し合って対策をしていました。

個人面接は、本番当日に提出する「個人面接カード」を念入りに作成し、それをもとに、圧迫面接の練習などもしました。

1次試験が終わると、少し肩の荷も降りて気も緩んでしまいましたが、ここでどれだけ友達と切磋琢磨し合えるかが勝負だと思います。1次試験と同様、2次試験も周りの人とのつながりを大切に、励まし合いながら毎日目標を決めて頑張ってください。

2次試験本番

2020年度教員採用試験

▶1次試験合格発表…8月2日

▶水泳実技…8月20日

▶個人面接、音楽実技、模擬授業、特別活動…8月21日（私の場合）

…2次試験は8月17～30日の間の2日が受験番号によって指定される。

【水泳実技】

水泳実技は、50メートルを一度も足をつくことなく泳ぎ切ることが課題です。会場となる学校にいたらすぐに水着に着替え、体育館に集合します。並んで体操を行った後、そのままプールへ移動し、シャワーを浴びたら小プールを通過し、プールサイドに並んで順番を待つという、あっという間の試験です。小プールでは、泳いでもいいと言われますが、私は心を落ち着ける余裕もなく腰まで浸かって歩くだけしかできませんでした。本番

そのものは、5人くらいで一度に泳ぎます。平泳ぎしかできない私ですがそれまでの練習で自信をつけていたので、一番遅くてとても差が開いてのゴールでも落ち着いて泳ぎ切ることができました。とにかく足をつけることなく泳ぎ切ることができると合格なので、あきらめずに頑張ってください。

【個人面接】

一人15分ほどの面接時間ですがとても長く感じられました。教員採用試験の志願書や個人面接カードから、3人の試験官から深く質問されます。中には意地悪な質問に思えるものもありますが、感じよく落ち着いて会話をするくらいの心持で答えると、自分自身も楽に伝えられるかと思えます。予想外の質問でも、無理にかっこつけようとせず、これまでの自分を信じて挑んでください。

【音楽実技】

音楽実技は、試験会場となる音楽室に入るとピアノ、歌、リコーダーの順に立ち位置を変えて行きます。これも、はじまってしまおうとあっという間に感じられます。

ピアノは、あらかじめ指定されたバイエルの3つの中から自分の自信をもって弾けるものを選び練習して挑みます。私はピアノを習っていたこともあり、苦には感じませんでした。自信をつけるためにも音楽専攻の友達にも聴いてもらい対策をしていました。それでも本番は頭の中が真っ白になります。当たり前のことかもしれませんが、経験者も万全の練習をして落ち着いて演奏をするように心がけてください。

歌は、あらかじめ指定された歌唱共通教材の3つの中から自分でその場でカードを引きます。しっかり立ち、大きく口を開けて大きな声で歌うといいと思います。歌詞は覚えておいて損はないです。

リコーダーも、歌と同様、3枚のカードから一枚を引いて演奏します。これも暗譜で挑んで損はないので、練習を楽しんで頑張ってください。

【模擬授業】

待機室で授業をする課題の書かれたカードを引きます。引き直しは1回許されますが、引き直した場合、1枚目を選択することはできません。本番の教室では試験官の先生が二人後ろのほうに座っておられ、名前などを述べるように指示されるとそのあとすぐに、始めるように指示されます。目の前に子どもがいるように見えるように、机間支援などをすることなく授業を進めます。定規を使うべき場面ではしっかり使い、それまでの練習の成果が発揮できるように落ち着いて自分の授業をしてください。また、時間が来るとそこでやめ、英語で簡単な質問をされます。慌てることなく答える練習もしておくと思えます。

【特別活動】

特別活動とは、5～6人のグループで劇をします。実践論で対策をしてくださるので改めて何かしなくても、協調性や積極性をもって望むと楽しくできるものだと思います。見られている意識を持っていると、謙虚になる場面、積極性を見せる場面が見えてくる気がします。

最後に

教員採用試験勉強は、思っていた以上に体力や気力を使い大変でしたが、一生懸命になる自分や滋賀大の団結力、友達の温かさを感じる機会でもあり、思っている以上に充実した日々で、ある意味楽しむことができました。焦ったり緊張したりつらいことがあったりもしますが、その分、頑張っよかったと思える日が来るので、自分を信じて目の前のことの一つ一つクリアしていけるといいなと思います。運よく採用試験を受かることのできた私ですが、これも本当に先生方や先輩、友達のおかげです。周りの人を頼りながら、頼られながら、自分の手で合格を掴んでください。

私もこれからの教員生活に不安と楽しみで胸をふくらませています。いつか一緒に原楽ことのできる日を楽しみに私も頑張ります。

未来は自分がつくるもの。

合格体験記 【中学校（理科）】

滋賀県 Y.S.さん（理科専攻）

1) はじめに

私は大学入学当初、「教員になりたい」という気持ちはほとんどなく、なんとなくで教育学部に入ったため「教師になるのかな」程度の気持ちでした。しかし、大学3年生で教育実習に行ったことや、スクールサポーターなどのボランティア活動を通して子供と触れ合う面白さや難しさを感じ、そこから子供とかかわる仕事がしたいと思い、中学校教員を強く志望するようになりました。また地元で教員になりたいという思いが強くあり、地元である奈良県で教員採用試験を受けました。

そして、私は来年度から奈良県の中学校教師として勤めることになりました。今この体験記を読んでいる人の中には滋賀県以外の地方で教員を目指している方もいると思います。県外での受験を考えている方や受験する自治体に悩んでいる方に私自身の経験がどれほど力になれるかはわかりませんが、少しでも皆様にとって参考になる話ができたら大変嬉しく思います。

2) 地域・校種・職種などの選択について

私は「地元で教師になりたい」という思いが強くありましたが、周りがほとんど滋賀県で教員採用試験を受けるといった状況で1人だけ他府県を受けるのは心細いなと思い受験する自治体にすごく悩んだ時期がありました。最終的には奈良県だけ受けたのですが、最後まで悩んだ末に願書提出時は奈良県だけでなく滋賀県にも願書を出し併願していました。しかし、1次試験の面接日がかぶってしまったことによりどちらかを選ぶしかなかった状況になってやはり地元がよいということで奈良県だけを受けることにしました。

校種の決定については、小・中(理科)・高(理科)の3校種の免許を取得していたこともあり、少しだけ悩んだ時期もありました。最終的には、少し部活指導をしてみたいと思ったことや、たくさんさんのクラスの子供とかかわりたいと思ったこと、また自分の学力のレベルを考えて中学校を選びました。

校種の決定の際などに、自分の選択肢が狭まらないように取れる余裕があるなら早い段階で取得免許を絞ってしまわず小学校と中学校の免許はどちらも取得するようにしとくとよいと思います。

3) 試験までのこと

私が本格的に試験勉強を始めたのは大学4年生の5月中頃からでした。周りの友人たちは大学3年生の2月ごろから試験勉強を始めている人が多かったように思います。しかし

私は、ゼミの先生の指導の関係等もあり、卒業論文執筆に関することで3年生の3月から様々な天文台等に学びに行かせてもらっていたり、他大学の施設に行かせていただいたりしていたこともありなかなか自分の試験勉強の時間を作り出せず、参考書を買ったもののほとんど手つかずといった状況でした。試験勉強は早いうちから始めるに越したことはありませんが、5月ごろからでもがんばれば間に合います。しかしみなさんはできるだけ余裕をもって始めるようにする方が絶対にいいと思います。

○重視した授業・経験、結果的に役立った授業・経験

私は奈良県を受けたこともあり、大学内の授業であまり役立ったと感じたものは少なかったです。特に教職実践論は滋賀県の教員採用試験に特化した対策講座となっているので最初は少し行っていましたが途中からほとんど行かず、集団討論の練習だけ参加させてもらっていました。しかし、集団討論の練習に関しても奈良県は他府県と違い集団討論が30分ほどあることや集団面接がないことから時間の無駄に感じることもありました。結果的に役立った授業としては、心理学の授業があげられます。1回生の必修の授業である心理学系の授業の内容は教職教養の範囲の試験ですごく役立つので、しっかりと授業を聞いておくと教採の勉強の時に取り掛かりやすくなると思います。

○おすすめの参考書

- ・全国版教職教養の過去問 → 全国の問題を解くことで教職教養の頻出問題を知れる
- ・全国まるごと過去問題集(理科) → 理科の頻出問題と様々な出題形式の問題を解ける
- ・東京アカデミーステップアップ問題集 → 難しいですが確実に力はつきます

4) 1次試験本番

奈良県の1次試験は下記の要領で行われました。

2019年奈良県1次試験

7月6日：筆記試験(教職教養100点・専門科目200点)

7月14日：集団面接(集団討論のみ100点)

〈教職教養〉

奈良県は一般教養がない分、教職教養が難しいです。本番でも今まで見たことがないような推進プランなどが出てくる場合がありますが、自分がわからないならみんなもわからないだろうという気持ちでいけば大丈夫です。実際に教職教養は平均点も低めだと思います。全体での配点もそこまで高くないので本番であまりうまくいかなくても落ち込まず頑張りましょう。

〈専門科目〉

問題数が多く、前半はマーク式の問題ですが後半にそこその量がある記述問題もあるのでサクサクと問題を解き進めていかないと時間が足りなくなるので問題を解くペースを上げる練習もしておいた方がいいと思います。

〈集団討論〉

奈良県は他府県よりも集団討論の時間が長いのが特徴です。また、2019年度から集団討論が2次試験から1次試験に変更になり集団面接がなくなりました。集団討論は、グループの人数によって多少変わりますが基本的には1グループ7~8人で約35分間の討論を行います。討論を始める前にプリントが配られ、試験管に言われたテーマを書き取り1分間でそのテーマに対する内容を思いつく限りプリントに書き込んでから討論を始めます。時間は長いですが、発言回数等の指定はないので、気負わずに自分が話せると思ったタイミングで話に入るといいと思います。

5) 2次試験までのこと

1次試験の結果が出るまではあまり集中して2次試験対策に取り組んでおらず、ボランティアでキャンプに参加したりしていました。

奈良県の2次試験は個人面接のみ(模擬授業等を含む)なのであまり焦らず準備をしていました。また、模擬授業の内容も1次試験後1週間ほどすると開示されるのでそのテーマに沿った模擬授業について時間をかけて考えることができ余裕をもって準備することができました。1次試験合格後は、模擬授業について詳しく考え練習に取り組み、個人面接の質問対応と場面指導(ロールプレイ)について少しだけ準備して試験に臨みました。

2次試験前は1次の筆記とは違い勉強という感じではなかったので、よく息抜きとして友達とご飯に行ったりしていました。またバイトも週1回程度していました。

6) 2次試験本番

2019年奈良県2次試験

8月18日：個人面接(模擬授業10分・場面指導5分程度含む)

300点

〈個人面接〉

奈良県は、入室して受験番号と名前を言うとすぐに模擬授業が始まります。10分経つと試験管から「終了してください」との合図があり、そこから席についての面接が始まります。模擬授業終了後、授業についての質問がありその後の展開や、前時までの知識について聞かれました。授業に関する質問が終わると次に場面指導に入っていきます。私と与えられたテーマは「子供が自殺について考えているのを知り相談しに来た保護者への対応」でした。ど

んなテーマでも落ち着いて自分が最善であると思う考えを、丁寧な言葉づかいで本当に保護者に話すように伝えれば大丈夫です。場面指導後には中学理科を志望した理由や、大学で学んでいること等について聞かれ、最後に県内のどこでも勤務できるかの確認があって試験は終了しました。最初の入室から退室まで全員共通で30分でした。

私は2次試験の面接官が高校時代の化学の先生で、入室して先生と目が合った瞬間プチパニックに陥りました。というのも、高校時代にその先生の試験で13点を取ったことがあります、あまりいい成績を残せておらず先生に対して苦手意識が少しあったからです(一生懸命教えてくださっていたのに全然できなかつた申し訳なさもありました)。しかし、プチパニックに陥りながらもなんとか試験を終えることができました。

試験では何が起きるかわかりませんが焦らず落ち着いて普段練習してきた成果を出せるように頑張りましょう。

7) さいごに

私も試験勉強をしているときは、試験に落ちたらどうしよう、こんな対策でいいのかな、など他府県を受験することで情報量が少なかつたり、勉強量が足りないのではないかなど様々な不安がありました。しかし、最終的には自分を信じて試験に臨むしかありません。本番は、自分ならできるという意思を持っていきましょう。

教員採用試験の勉強は大変で、自分のやり方があっているか不安になったり、周りと比べて焦ることもたくさんあると思います。しかし、自分に自信を持ってコツコツと頑張れば必ず結果はついてきます。自分にできることから焦らず頑張ってください。また、大学には受験する都道府県は違えども、ともに採用試験に臨むたくさん仲間たちがいます。互いに励ましあいながらみんなで合格を目指して頑張ってください。

最後になりましたが、私のつたない文章を読んでくださりありがとうございました。この文章を読んでくださった皆さんが笑顔で合格発表の日を迎えられることを心から願っています。

合格体験記 【中学校（英語）】

滋賀県 N.K. さん（英語専攻）

1. はじめに

私は、中学生の時の担任の先生に憧れたことから、教員になることを目指し滋賀大学に入学しました。大学生活では、周りの友達に恵まれ、毎日を楽しく過ごしながらも、「教員になりたい」という同じ志を持つ仲間と一緒に勉強に励むことができたと思います。また、部活動にも参加し、小学校から続けてきたバレーボールを通して信頼し合える仲間にも出会うことができました。

そして、私は本年度から滋賀県の中学校教師として勤めることになりました。私も、今これを読んでいる人のように不安の日々を過ごしたこともありましたが、教員セミナーや教職実践論を受講したこと、また、教員採用試験を受けられた先輩方からアドバイスをいただいたことで安心して、教員採用試験の勉強に取り組むことができました。私自身の経験が、少しでも皆さんの参考になることができれば、大変うれしく思います。

2. 地域・校種の選択について

○なぜ滋賀県なのか

私がなぜ、滋賀県で教員を目指そうと思ったかという理由は大きく二つあります。それは、自分が生まれ育った県であることと、自分がお世話になった先生方や、先輩方、同期のみんなと共に滋賀県の子どもたちの教育に携わることができることです。これらの回答は多くの受験者が話す内容であると思います。なので、ここに具体的な体験談や、自分なりの意見が反映できるといいのかもしれませんが、自分の考えをはっきりと述べることも大切なことだと思います。

○なぜ中学校なのか

私がなぜ、中学校の教員を目指そうと思ったかという、中学生という時期は、子どもたちが子どもから、大人へと大きく成長する時期であり、そのような時期に学校という教育現場で子どもの支えとなる存在になりたいと感じたからです。先にも述べた通り、私が憧れた中学生のときの担任の先生はいつも親身になって相談に乗って下さり、私はその先生にすごく助けられました。なので、私もその先生のように、子どもに寄り添い、子どもの成長に携わることができるようになりたいと思っています。

英語面に関しては、アクティビティの中で子どもが実際に英語を用いて活動することで、英語を使う楽しさを子どもたちに教えていきたいと感じたからです。ただ、文法を説明し、理解しているかテストで確認というだけでは、子どもが楽しく英語を学ぶこと

ができません。アクティビティを用いることで、子どもが楽しく英語を学ぶことができるのが中学校であると考えました。

そして、中学校では部活動もあります。私自身、部活動を通して多くのことを学んできたので、子どもたちにも、何か一つでもいいので、自分が一生懸命になって頑張れるものを見つけさせてあげたいと考えたからです。

3. 試験までのこと

私が、試験勉強を始めたのは3回生の1月頃でした。周りに比べると遅いほうではありましたが、部活動を引退し、ひと段落してから取り掛かると決めていました。しかし、この頃は、教員採用試験に対してのモチベーションはあまりなく、勉強は参考書を見たりする程度のことくらいしか出来ていませんでした。そして、教員採用試験について、漠然と不安を抱えたまま、2月に大学で行われている「教員セミナー」を受講しました。そこで、やっと勉強の方法に気づくことができ、周りの友達の勉強の進み具合に焦りを感じ、本格的に勉強を始めました。以下からはそれぞれの試験内容に分けて、どのように勉強したかを説明していきたいと思います。

○筆記試験

筆記試験の勉強の方法は、試験科目によってさまざまなので、それぞれに分けて説明していきたいと思います。

●教職教養

主に使用したのは、東京アカデミーのセサミノートと問題集、そして、滋賀の過去問です。まずは、セサミノートで知識を頭の中に入れてから問題を解くということを心がけました。問題を解いていく中で、自分が得意なところと苦手なところが出てきた、苦手なところはすぐにノートを見直し、覚えなおしたりしてなどして、復習を行いました。

●一般教養

主に使用したのは、滋賀の過去問です。県によって出てくる内容が様々なので、不必要なところは省いて、分からないところだけ勉強するという形にしました。苦手な教科は、その専攻の友達に聞いたりして、解決していくようにしました。

●専門科目

主に使用したのは、高校の文法書と問題集、東京アカデミーのステップアップ問題集、時事通信社の「教員採用試験 20年度 中高英語の完全攻略」、そして、滋賀の過去問です。私は文法問題に自信がなかったので、高校のときに使用していた問題集で復習を行い、一通り終えてから、問題集や過去問にとりかかりました。

*どの科目も、問題をこなして慣れておくことが大切だと思います。そして、分からないところはそのままにしておかず、周りの友達に聞いて解決しておくようにしましょう。

○小論文

小論文の対策は、3回冬から始まる教職実践論の中で行いました。毎週、与えられる教育に関するお題を、部外秘などを参考にしつつ書きあげ、担当の先生に添削していただきました。自分で書いて終わるのではなく、誰かに見てもらう事で自分では気づくことのできなかつた視点や、小論文の書き方についても学ぶことができました。

○集団面接(集団討論も含む)

集団面接の練習は、教職実践論の時間だけではなく、友達と予定を合わせて、自主的に行ったりしていました。面接練習は回数をこなすことで自信がついてくるので、できるだけ本番に近い人数で練習を行うことをおすすめします。また、実践論のときは、担当の先生が好評を述べてくださいますが、自分たちで行ったときは、みんなで討論を終えた後、そのお題について意見交換を行ったり、反省を行ったりしていました。

*小論文・面接練習は、何か一冊ノートを用意し、自分が調べたり、自分が考えたことをできるだけ書き残しておきましょう。また、友達と意見交換を行うなかで得たこともノートに書き残しておくとともに良いと思います。

4. 1次試験について

集団討論は、1グループ8人の構成で、私たちのグループは欠席の人もいたため、6人で行いました。流れとしては、個人質問→集団討論→個人質問という流れでした。集団討論以外の発言は挙手制で、当てられてからの発言となるので、考える時間は与えられます。自分の考えをしっかりとまとめてから発言するようにしましょう。集団討論では、司会などは立てず、議論を進めていきました。ただ、自分の意見を発して終わるのではなく、グループのメンバーと議論を深めていくことができるような発言が必要です。

そして、集団討論では、必ずといっていいほど、議論の進行に支障をきたす人がグループに一人はおられます。そのような場合も想定して練習しておくことが重要になってくると思います。また、同じグループに講師の方も必ずおられ、実際の教育現場で経験されたことを話されますが、それに動揺する必要はありません。実践論で担当して下さった先生がよくおっしゃっていましたが「夢を語る」ことが私たちには求められていると思います。自分の意見をしっかりと周りに伝え、時には周りの意見に同意や反論しながら意見を深めていくようにしましょう。

5. 2次試験までのこと

ここからは主に「滋賀県中学校・英語」における話になりますが、共通点も多くあると思いますので、参考にしていただくと幸いです。2次試験の対策は1次試験の合否にかかわらず、1次試験が終わると同時に始め、余裕を持って準備することをおすすめします。

○模擬授業

模擬授業対策は過去問をみて、指導案を考えてから、実際に時間を測って模擬授業の練習を行いました。指導案を考えるだけでなく、実際に黒板を使用して、友達に見てもらいながら練習したことで自分では気づくことのできなかつた改善点に気づくことができました。また、友達の模擬授業も見せてもらうことで、友達の模擬授業の良い点を自分の授業の中に取り入れることができたと思います。

○個人面接

これもまた、ノートを用意し、部外秘に記載されている過去問をみながら質問ごとに自分の意見や考えをまとめておいて、いつでも見返すことが出来るようにしておきました。そして、教職実践論のなかで担当の先生に好評をいただきながら練習し、友達とも本番に近い形で練習していました。一次試験の面接練習と同様、回数をこなすことで自信がついてくるので、できるだけたくさんの回数を練習するようにしましょう。

6. 2次試験について(*中学校英語の場合)

○模擬授業

模擬授業は3つの教室を使い、3人ずつ行われます。まず模擬授業を行う教室と異なる場所で席に着き、くじを引きます。くじは一回のみ引き直しが可能です。くじを確認後、8分間で、くじに記されたテーマの授業を構想します。白紙が配布されるので、それをメモとして使用します。

構想時間が終わると教室を移動し、受験番号・テーマを確認した後、模擬授業を行います。模擬授業が終わると、英語での質疑応答が2問あり、模擬授業は終了となります。英語はこの質疑応答があるため、他教科よりも1分短く模擬授業の時間が設定されています。事前に考えていた授業の時間よりも短い時間でしたが、自分が何の活動を授業の山とするのかをはっきりさせて授業を行うことが重要だったのではないかと思います。

○個人面接

個人面接では、部外秘からの質問がほとんどです。中には、部外秘にはなかった質問もありましたが、落ち着いて自分の意見をハッキリと答えるようにしましょう。そして私は、部活動についての質問が多くされました。自分が一番頑張ってきたものだったので、自分の経験を踏まえながら正直に自分の考えを伝えることを心がけました。

7. さいごに

つたない文章であったと思いますが、最後まで目を通していただきありがとうございました。皆さんのお役に少しでも立てればと思い、この度、執筆させていただく運びとなりました。

私自身の経験を思い返すと、教員採用試験を合格するために一番重要だったことは、一緒に頑張れる仲間が自分の近くにいてくれたことだと思います。合格ラインがなかなか見えない筆記試験の対策では、しんどくなる瞬間もたくさんありますが、一緒に勉強してくれる友達がいてくれたり、遅くまで大学に残って勉強している友達の姿をみると「自分ももっと頑張ろう」と思うことができました。また、一人ではなかなか改善できない面接試験・模擬授業も、友達がいてくれたからこそ対策できたと思います。

滋賀大には一緒に頑張れる仲間がたくさんいます。みんなで支え合って教員採用試験を乗り越えてください。みなさんとともに滋賀の子どもたちの教育に関わる日が楽しみにしています。

合格体験記 【高校（数学）】

滋賀県 R.S.さん（数学専攻）

◎はじめに

今回、体験記を書く機会を頂けたことを心から感謝致します。今までの経験から、飾らない正直な私の気持ちをお伝えすることで、皆さんの力になることを祈りながら書かせていただきます。

◎教師を選ぶまで

「将来は先生になる。」そう初めて決意したのは小学生の時でした。身近な大人の中でキラキラ輝いて見えた先生を尊敬したという、とてもよくある動機だと思います。授業内容を友人に説明して、分かりやすい！と喜んでもらえるのも大好きでした。そうして歳を重ね、中学生の時には中学校の先生に、高校生時には高校の先生になりたいと考えていました。先生になることをずっと明言していたので、大学に入るまで自分が先生になることは当たり前だと捉えていたのです。

そして迎えた大学 3 回生の冬。周りが教員採用試験に向けて勉強をスタートしていく中、不意に自分の中に迷いが生じました。夢に向かって努力しようと思ったその時初めて、教員以外の道が視野に入りました。自身と深く向き合わず、ただ漠然と教員を目指していたことに気がついたのです。それからは日々を過ごす中で、どの道に進めばいいのか悩み続けました。偶然その頃、私のゼミナールを担当してくださっていた先生が小学校で授業をすることになりました。きっと何か今の私にとってプラスになるはずだと思い参加したのですが、それが私にとって大きな転機でした。その授業で扱われる算数はとても面白く感じ、子どもたちと一緒にワクワクしている自分を見つけた時、教師という職業への想いが確かなものになったのです。

◎1 次試験

〈1 日目〉

- ① 小論文
- ② 専門科目
- ③ 教職教養・一般教養

【筆記試験】

決意を固めた後、早速参考書を取り揃えました。教職教養・一般教養、専門科目を勉強する際に心がけていたことがあるので、ここで紹介したいと思います。

まずは、参考書において「浮気しない」ということです。色んな教材に手を出したくなりますが、一つに絞り、その一冊を徹底的にやりこみます。一冊まるまる習得できれば、十分力をつけたことにもなりますし、何より自信が持てるようになります。なのでまずは、一冊パートナーを決めて勉強してみてください。

次に、上手く気分転換を行うということです。ずっと勉強ばかりでは集中力が切れ、惰性で手を動かしている状態になってしまいます。効率よく学習を進めるためには、勉強の合間でいかにリフレッシュできるかが鍵となります。そのために、1日の中で休憩時間を必ず確保し、その休憩時間で休み切ることが大切です。また、人によっては遊びを完全に断ち切ってしまうこともあります。私は遊んで気持ちを切り替えることも必要だと考えています。そうやって、自分なりに生活にメリハリをつけてみてください。

最後に、小さな目標を設定するという事です。私は、「今日中にこの単元を終わらせる！」と自ら課題を課したり、教員採用試験対策の模試を受験したりしていました。勿論大きな目標は「教員採用試験合格」でしたが、実現させるためにはスモールステップを積み重ねていく必要があります。小さな目標は無謀なものではなく、頑張れば達成できそうなものに設定することで、モチベーションの維持を図ってください。

【小論文】

最初は書き方も全く分からず、書き切るまでの時間はかかってしまうと思いますが、回数を重ねることで皆さんも必ず上達します。小論文の練習においては、多くの作品を完成させ、添削していただくことが大切です。4回生の4月から始まる教職実践論では、担当の先生に1人ずつ添削していただけます。本番までできるだけ多く書き、その都度添削されたことから学ぶようにすれば、形式は掴めます。肝心な内容については、自身の引き出しをどれだけ思い出せるかが重要です。小論文のテーマに沿った自分の経験・考えを整理することで、ぐっと書きやすくなります。普段の空き時間に、少しずつ自分の考えをまとめてみると良いと思います。

〈2日目〉

- ① 集団討論
- ② 集団面接

【集団討論・面接】

この場で大切なのは、自分の考え方をどのように人に伝えられるか、という力です。短時間で自身の言いたいことを分かりやすくまとめるという点では、小論文とよく似ています。よって、小論文のために引き出しを整理することは集団面接・集団討論でも生きてきます。

逆に小論文と異なるのは、既にしてしまった発言を消しゴムで消せないということです。話しながら伝えたいことを整えていった結果、失敗すると結局何を言いたかったのかが分

からない発言となってしまいます。それを防ぐためにも、まずは発言の結論をはっきりと言わなければなりません。その練習を、よくグループでしていました。高校志望の滋賀大生は少ないですが、実践論で一緒になる人達は科目は違えど校種は同じです。この縁を利用しない手はないので、是非集まって練習してみてください。私自身も、5月末頃から週に2,3回集まって集団討論・面接の練習を繰り返していました。その時に自分が難しいと感じるテーマについて相談してみると、様々な視点から意見を聞くことが出来て、大変有意義な時間でした。1人で考えをまとめ、グループでその意見を述べ、評価してもらうことを繰り返せば確実に成長できます。

◎2次試験

- ① 個人面接
- ② 模擬授業

【個人面接】

個人面接の対策については、集団面接とほとんど変わりはありません。しかしながら、個人面接では1人あたり15分ほど面接を行います。その15分の中で発言内容がぶれないようにする必要があると思います。練習のうちから自身の意見の根幹となる部分、つまり自分が最も大切にしたいことを明確にしておけば、発言に一貫性が生じます。なので、練習のうちから自分を見つめ直すことを意識してみてください。

【模擬授業】

私が最も「どう練習すればいいのか」と悩んだ試験がこの模擬授業です。過去の出題例を参考にしても、試験範囲は高校数学の全範囲。膨大な範囲全てを完璧にこなさなければ、と気持ちばかり先走っていました。試験を終えた今だからこそ分かるのは、内容を完璧に伝え切ることばかり考えなくても良いということです。与えられる時間は短く、到底導入から終わりまでやり切ることはできません。したがって、「どれほど内容を正確に伝えるか」ということよりも、「生徒に向かってどのような授業を展開しようとするか」という姿勢を評価されていると思います。自分1人で完結する授業ではなく、生徒ありきの授業であることを意識しながら授業を組み立てると良いでしょう。本番では試験管の方々は返事をしてくれませんが、実際にその場に生徒がいると思って話しかけてみるのも一つの手です。勿論、正確性を全く無視することはできないので、その点に関しては勉強を重ねるしかありません。教科書を捲りながら、「このテーマではどんな発問ができるだろう」と考えてみると良いと思います。完璧な授業を意識するのではなく、どんな授業をしたいかという理想を持って取り組んでみてください。

◎さいごに

長くなりましたが、最後までお読みいただきありがとうございます。練習の段階で、試験の難しさに挫折してしまうことがあるかもしれません。また、本番では講師の方も多く、経験の豊富さでは到底勝ち目がありません。だからといって臆さず、今までの練習の成果を振り返り、自信を持って取り組めば合格を掴み取ることができます。皆さんの努力の先にはきっと素敵な未来があります。最後まで自分を信じて頑張ってください。応援しています！

合格体験記 【特別支援学校】

滋賀県 K.U.さん（障害児教育専攻）

はじめに

この度は体験記の執筆の機会をいただき、ありがとうございます。しんどい時もありましたが、たくさんの人に支えられて、合格することができました。今回は後輩の皆さんの助けに少しでもなるように、自分の体験を述べていきます。拙い文章ですが、お役にたてば幸いです。

2) 地域・校種・職種などの選択について

大学に入学した当初からずっと小学校の先生になることを夢見ていました。それが特別支援学校の先生へと気持ちが傾いたのは、実習での経験が大きいです。子どもたち一人ひとりにあった支援をじっくり考えて、ゆっくり進めることができることや、たくさん先生と子どもの特性を話し合い、より良い支援に向けて取り組むことができる特別支援教育に魅力を強く感じ、志望しました。

私は他県出身です。はじめは地元で試験を受けようか、滋賀県で受けようかを悩んでいました。滋賀の教師塾に通ったのも、地元には教師塾がないため、自分のアピールポイントになるだろうという考えからでした。しかし、地元で受けるとなると、試験の情報を自力で集めることの大変さ、仲間がいないことへの不安を感じました。先生になってからも、実習やスクールサポートで出会った先生や頼れる先輩がたくさんいるため、少しでも安心して働くことができるのではないかと考え、滋賀県を受験しました。

3) 試験までのこと

私は、学内推薦を受けました。結果はだめでしたが、本番さながらの雰囲気でも集団討論、集団面接が体験でき、いい経験となりました。それだけでなく、みんなよりも一足早く自己アピールや志望理由を考えるきっかけとなり、一次試験の時に少し余裕が持っていたような気がします。滋賀県で受けようと考えている方は是非挑戦してみるべきです。

私は、スクールサポートに参加したり、放課後等デイサービスでのボランティアに参加したりしていました。少しでも経験を増やすことで、集団討論の中でも話せること

が増えたり、多くの知識を得ることができたりしました。実習以外で子どもたちと関われる機会や学ぶ場があることは自分の強みになります。

4) 1次試験本番

筆記試験

日程：2019年7月7日(日) 午前9時半から午後2時半まで

場所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

内容：小論文(35分) お題：基礎的・基本的な知識及び技能の充実・定着に向けてどう取り組むか

(うろ覚えです…)

専門教科(60分)

一般教養・教職教養(60分)

*小論文対策

わたしは小論文に関しては、実践論を中心に対策していました。実践論の先生に添削してもらったものをまた改めて書き直し、それも添削してもらっていました。書くときは必ず35分を測って大体の時間の感覚を掴むことをお勧めします。また練習中から鉛筆で書くことも本番に向けておすすめします。

内容に関しては、読む相手がいることを想像しやすいように、より具体的に書くように心がけていました。(例えば自尊感情を高めるために褒めるだけではなく、どのように褒めるかなど)

また特支では様々な障害の子どもたちがいることや、小中高と学部が違うことも特徴です。書く内容によっては、「小学部では～」などと子どもたちの特性を書いた方が分かりやすいのではないかと思います。

試験が近づいてくると、小論文を書くだけでなく、滋賀県の教育大綱の中の用語から出そうなお題を予想して、小論文の中に入れてみたいキーワードや言葉などを付箋に書き記していました。本番当日は小論文を見返すことは大変なので、これを見返していました。

また同じお題を友達と一緒に書き、それをお互いに見せあう事で新たな視点が発見できたり、書き方を真似したりできるのでおすすめです。

*専門試験対策

一番は過去問です！傾向をつかんで、よく出る範囲はしっかり勉強していました。何回もたくさんの問題をといていたら問題の出し方が自然と覚えてきます。

滋賀県は記述の問題が少ないように感じました。書いても語句を書くくらいで、語句を説明しなさいといった問題はここ最近出ていないように感じます。ですので、あまり記述対策はしていませんでした。しかし、問題集などに出てきた語句説明の問題はしっかりやるようにしていました。

参考書 主に

- ・東アカ ステップアップ問題集
- ・らくらくマスター
- ・特別支援教育の完全攻略

の3つを使用していました。試験2ヶ月前くらいからは、実力試しで、図書館にある全国の過去問が載っている分厚い問題集をひたすらやっていました。滋賀県の過去問はかなり早めにやり始めて、傾向を知っておくのをお勧めします。わたしは分からなかった問題や何回も出てくるのになかなか覚えられない問題をピックアップしてノートにまとめていました。最後の方はそれを繰り返し確認したりして自分の苦手をなくしていました。

あと滋賀県を受験するなら確認しておいた方がいいのが文部科学省の特別支援教育に関するホームページ、滋賀県の特別支援教育に関するホームページです。

①教育支援資料(文部科学省)

②特別支援教育の推進について(文部科学省)

③滋賀のめざす特別支援教育ビジョン(滋賀県)

などです。県に関してはまだ沢山あります。県の教育委員会ホームページに載っています。

①②に関しては過去問を解いていたらわかると思うのですが、問題に出てくる文章がここから出ていることがあります。特に病理。量が多いですが、確認しておくことをお勧めします。

③に関しては教職教養の問題で出ることも多いです。

*一般教養・教職教養試験対策

一番はたくさん問題を解きまくることです！図書館にある問題集を使ってたくさん問題を解くようにしていました。滋賀県の問題でよく出るのは、教育委員会のホームページに載っている指針や、計画等です。「滋賀の教育大綱」は必須です！知っていないとわからないことなので、まずは資料をしっかりと集めて、目を通すことをお勧めします。算数や理科とは違って、やっていけばわかる問題は落とすことがないように気をつけましょう。一般教養で、例年出ていないところが出ていたので、やはり、大まかでも全体的に勉強する方が良いかもしれません。

参考書は主に

- ・東アカ セサミノート

- ・東アカ 問題集
 - ・一般教養・教職教養の要点理解、演習問題
 - ・滋賀県過去問
 - ・全国版の問題集
- などです。

面接試験

日程 2019年7月13日（土）または14日（日）

※私は13日の9時45分集合でした。特別支援組は13日のお昼までに全員終わっていたような気がします。

場所 滋賀県立彦根翔西館高等学校

内容 集団討論 お題：特別支援のこどもたちを指導する上で大切にしたいこと

集団面接 お題：障害のある子どもの社会的・職業的自立とは何か、どう取り組むか

※どちらも去年と同じお題だったそうです

* 集団討論対策

一番練習できるのは集団討論の一番最初にある1分間自己アピールです！！特別支援は自己アピールなので、小学校中学校とかと違い、前もって考えていくことができ、堂々と発表することができます！ここにかけてもいいくらいアピールできるころだと思っています。ここでは印象に残りやすい言葉を用いたり、明るくはっきり伝える練習をしていました。討論中も「明朗さ」を大切にしていました。笑顔で話したり、相手の話は目を見てうなづきながら聞いたりすることを意識していました。

* 集団面接対策

これは難しいことや新しいことはせず、ひたすら部外秘に乗っている過去問をやっていました。心がけていたことは、できるだけ簡潔に答えることです。20秒から30秒くらいで答えられるようにしていました。これも友達とお互いに聞きあい、話し方のアドバイスをもらったり、内容を聞いて思ったことを言ってもらったりしていました。時にはボイスレコーダーで録音して後から聞き直してみると、自分の喋り方の癖がわかったりして、直すきっかけになりました。

5) 2次試験までのこと

まずは二次試験に必要な面接カードを書き始めました。たくさんの先生や友達に添削を頼み、何度も書き直しました。しかしなかなか一次試験発表までやる気がでませんでした。しかしやらないことにも不安を感じていたため、簡単に面接カードを書いたり、志望理由を考えてみたり、模擬授業を考えてみたりしていました。

発表後はすぐに県庁にある模擬授業の過去問を見に行きました。

* 模擬授業対策

まずは過去問全ての授業を考えました。算数と理科が多かったので、それらを中心に図書館にある指導書と板書計画を参考にしていました。それに、加えて特支では障害名を特定されるので、各障害に対して必要な支援を考えていました。だいたい全部作り終わったら同じ専攻の人と模擬授業を見合いました。板書の仕方を話し合ったり、進め方を話し合ったりしていました。また、板書をする中で、字の書き順なども指摘しあっていました。気をつけていたことは声の大きさ、明るさ、子どもへの配慮と板書の見やすさです。また模擬授業の最後に障害に対して何を配慮したのかや、授業の進行についてなど、質問を2問ほどされます。その質問に対しての答え方も練習していました。去年、一昨年と理科が出ていなかったようだったので、理科に関してはあまりやっていなかったのですが、今年は理科がでていたそうなので、対策をお勧めします。

* 個人面接対策

1番は必ず聞かれる志望理由をしっかりと答えられるようにしておくことです。私の場合、出身地ではないため、なぜ滋賀県かもしっかり考えていました。対策は集団面接と変わらず、部外秘にある過去問に答える練習をしたり、ほかの県の部外秘の質問にも答える練習をしていました。一番は、質問内容をしっかり聞き取って、ゆっくりはっきり答えることです！

6) 2次試験本番

8月23日 9時から 滋賀県立大学

個人面接→模擬授業

個人面接 内容（うろ覚えです）

- 1.なぜ特別支援学校か
- 2.滋賀県の理由
- 3.教師自体の志望はいつか、もとは小学校やったのか
- 4.(筆者が教育実習がきっかけと答えると)実習ではそんないいことがあったの？
- 5.コミュニケーションを取る上で大切なこと
- 6.チームティーチングの中で、人間関係がうまくいかないときはどうするか
- 7.あなたが言うことを否定されたときは？
- 8.教育公務員としての心構え
- 9.滋賀県全域、視覚聴覚の学校でも大丈夫か
- 10.教科指導は大丈夫か

* 試験官の雰囲気は優しく、聞かれ方も固くなく、会話のような聞き方で、はなしやすかつ

たです。ありのままの自分で話してねと最初に言われたので、あまり固くなりすぎずに話せました。

模擬授業 内容

構想 8分

数字と学年は忘れましたが

聴覚障害対象

「二桁かける二桁の筆算の仕方を考えよう」

授業プラス質問 7分

質問内容

- 1.聴覚障害に対して配慮した点
- 2.この時間で何を大切にしていきたいか

7) さいごに

最後まで読んでいただきありがとうございます。私も教採期間中、落ちたらどうしようと毎日、不安と恐怖の中で過ごしていました。しかし、それを乗り越えるには、後悔しないように全力で取り組むことだと決めて、毎日頑張りました。今振り返ってみると、一緒に乗り越えてきた仲間がいたから頑張れたと心から思います。そして仲間たちと楽しく教採期間を過ごせたと思っています。教採期間中はしんどいこともあると思いますが、周りの友達や先生をたくさん頼ってください！そしてたまには息抜きして、後悔しないように頑張ってください。

この体験記が少しでも皆さんの助けになれば幸いです。皆さんの努力が実ることを心から願っています。頑張ってください！

合格体験記 【特別支援学校】

岐阜県 F.K.さん (障害児教育専攻)

合格体験記 障害児教育

1) はじめに

この度は合格体験記の執筆の機会をいただき、ありがとうございます。

私は、岐阜県の教員採用試験を受験し、特別支援学校教員として採用していただきました。試験を受ける仲間、家族、先生方に支えられて合格できたと思っています。

身近に岐阜県を受験している人がいなかったこと、また、大学に岐阜県の特別支援学校の採用試験の情報があまりなかったため、情報を集めることから始めました。そのことについてお話しできたらと思っています。

2) 地域・校種・職種などの選択について

地元の岐阜県のみ受験しました。滋賀県との併願も悩みましたが、試験内容が違って対策が追い付かないと思い、第一希望である岐阜県のみ受験することにしました。

校種については、大学入学当初から「特別支援学校教員として、子どもたちを育てたい」と考えていました。教育実習で、集団行動が苦手な観察生徒と3週間向き合い、葛藤しながらもその課題を乗り越えていく姿を見て、特別支援学校教員になりたいという思いが強くなりました。

3) 試験までのこと

岐阜県の採用試験の情報を集めることから始めました。まずは、過去問集を見て、岐阜県の傾向やよく出題されている部分を紙に書きだしました。こうすることで、自分がしなければならない勉強がはっきりします。勉強を進めているときにも、この紙を見返すことで、どの部分がまだ対策できていないかがわかります。

また、過去問を解いて分からなかった部分や間違えた部分を付せん書き出し、1冊のノ

① 協同教育研究会 編

『教員採用試験 過去問シリーズ
岐阜県の特別支援学校教諭 過去問』

② 東京アカデミー 編

『教員採用試験対策 ステップアップ問題集 専門教科 特別支援教育
オープンセサミシリーズ』

③ 資格試験研究会 編

『教員採用試験 特別支援学校らくらくマスター』

ートに貼っていきました。あとで分野ごとに貼り分けて、自分の苦手な部分が見てわかるようにしました。過去問は、2回ほど繰り返しました。苦手な分野については、何度も間違える問題の付せんにはマークを付け、間違えなくなった問題は付せんをはがすという作業をして、ノートを変えていきました。また、私が主に使用した参考書等は、以下のとおりです。

②の過去問の中から、受験する岐阜県でよく出る部分のみを何度も解いていました。③の参考書は、赤シートで隠せるため、通学中に電車の中などでよく使っていました。これまでの合格体験記にもありますが、自分に合った参考書等で勉強することが大切だと思います。最初のうちは、大学の図書館にたくさん参考書等があるので、中身をざっと見たり、実際に使ってみたりして、自分に合うものを探すといいです。

また、滋賀大が行っている試験対策には参加しておいたほうがいいです。3回生の2月頃には、春季教職セミナーがあります。私自身、このセミナーに参加して、どこを要点として勉強するといったか気づくことができました。滋賀県を受験する人が多いため、滋賀県の試験対策が中心でしたが、教育法規などは岐阜県でも頻出だったので受講してよかったです。4回生になると、教職実践論が始まります。小論文、面接、集団討論の対策をします。自治体によって、小論文の字数や集団討論の時間が異なります。小論文は、自分が受験する自治体の字数で練習できます。集団討論は、他の仲間と相談して時間を変えて何回も練習しました。私は4回生から通いになったため、大学へ行く日が少なかったです。そのため、一人でもできる筆記対策や小論文は自宅で、相手が必要な集団討論や面接の練習は大学でするようにしていました。

私は、面接、集団討論が苦手でした。面接については、試験を受ける仲間からアドバイスを受け、部外秘の面接の質問内容をノートに書き出し、それに対して一文で答える練習をしていました。岐阜県の過去問だけではなく、滋賀県など他の自治体の過去問も活用しました。

集団討論では、自分の意見を考えているうちに話題が進んでしまい、焦って何も答えられなくなることが多かったです。焦らず、他の人の話をよく聞いて、思い浮かんだことを積極的に言うようにしました。

4) 1次試験本番

日時：2019年7月20日（土）

試験会場：岐阜県立岐阜北高等学校

試験内容：筆記試験（教職教養、教科専門）

気をつけるべきことは、面接ではあまり長く話そうとしないことです。集団面接だと、一人あたりの時間が限られています。長く話すより、簡潔に自分の意見を言い切るほうがいい

です。過去問に一文で答える練習がここで生きたと思っています。また、座っているときの姿勢にも気を付けました。背筋を伸ばして座ることによって、見た目の印象が良くなるとともに、面接官に届く声ではっきり話すことができたように感じます。

2次試験にも共通することですが、時間に余裕をもって会場に向かうことも大切です。バスなど公共交通機関が混雑するので、なるべく早めに行動するようにしました。

5) 2次試験までのこと

2次試験の2週間ほど前に1次試験の合格発表がありました。2次試験で小論文、集団討論、個人面接があったので、1次試験前と同じような対策を続けていました。

6) 2次試験本番

日時 2019年8月21日(水)、22日(木)

会場 岐阜県立各務原西高等学校

試験内容

21日(1日目)

・集団討論 40分(5分:自分の意見をメモに書く 35分:討論)

1グループ7人か8人(私のグループは7人で、うち3人は講師の方でした)

司会:なし

「高等学校の生徒と特別支援学校の児童生徒の交流を多くするべきだという意見があります。あなたはこの意見についてどう思いますか。また、交流をする場合は、どのような交流が良いと思いますか。」

・個人面接(15分×2回)

①校長2名が面接官

②民間企業人事担当者、知事部局課長の2名が面接官

【質問内容】

	1回目	2回目
質問1	岐阜県の教員を志望した理由を教えてください。	特別支援学校の教員を志望した理由を教えてください。
質問2	子どもの個性や良さをどのように見つけますか。	今までに特に頑張ったことは何ですか。
質問3	特別支援学校に通う子どもの保護者が、学校に求めていることは何だ	今までに大きな挫折を味わったことはありますか。その時、どう対処しま

	と思いますか。	したか。
質問 4	最近の教育に関するニュースで気になっているものについて、あなたの考えを聞かせてください。	障害のある子どもを指導するうえで、大切にしたいことは何ですか。
質問 5	朝、保護者から電話がかかってきて「子どもが学校に行きたくない」と言っている。どう対応するか。	ボランティア活動で得た力は何ですか。
質問 6	あなたは中学部の担任です。明日の体育祭の注意事項を交えながら、帰りの会で生徒たちに話すように実演してください。	障害のある子どもが社会に出て、一番必要な力は何だと思いますか。
質問 7	あなたの教員としてのセールスポイントを教えてください。	卒業論文について、どのように考えてテーマを設定したか教えてください。

22日(2日目)

・適性検査(内田クレペリン検査)

・小論文(60分 800字)

「地域社会の活力を維持・向上し、持続可能な地域を実現するために、特別支援学校が果たすべき役割とは何か。地域社会の置かれている状況を踏まえ、あなたの考えを書きなさい。」

7) さいごに

私のように、受験する自治体の情報が大学にあまりない場合は、まずは市販の過去問などで傾向を知ることが大切です。また、参考書には載っていない自治体独自の教育プランについて問われることもあるので、そこまでチェックしておくことも合格のカギになると思います。

また、ボランティア活動やスクールサポーター活動等、定期的に子どもと関わる機会をもつといいと思います。面接では、帰りの会など具体的な場面のことを質問されました。この時に役立ったのがボランティア活動での経験です。私は障害のある子どもと関わるボランティア活動に参加していました。ボランティアのなかには、特別支援学校や小学校で教員として働いていた方がいたため、その方々の子どもへの接し方を見て学ぶことができました。このような経験は、小論文を書く時にも活用できます。試験勉強中の気分転換にもなると思います。

ここまで読んでいただきありがとうございました。

合格体験記 【幼稚園】

京都府城陽市 E.Y.さん (幼児教育専攻)

1) 幼稚園教諭・保育士の志望動機

私は母子分離ができず非常に手のかかる子どもでしたが、幼稚園の先生はいつも愛情深く関わってくださり、私はそんな幼稚園の先生が大好きでした。子どもの頃から私はずっと幼稚園の先生に憧れていました。

幼稚園でのボランティアで、子どもが夢中になって遊びこみ試行錯誤することを通して学びを得て成長していく姿をたくさん目にしてきました。私は、このような子どもの主体的な遊びから生まれる学びを支えるという幼児教育のあり方に非常に魅力を感じ、絶対に幼児教育の道に進みたいと思うようになりました。

2) 受験した自治体

私は京都市、木津川市、久御山町、城陽市の四つの自治体を併願受験しました。(京都市は二次試験不合格、木津川市は受験日重複の為二次試験辞退、城陽市と久御山町は合格、久御山町は内定辞退)

ほとんどの幼児教育職が地方公務員(市の職員)という形で採用試験が行われます。しかし、京都市の幼稚園教諭の採用試験は特殊で、公務員試験ではなく、教員採用試験という形をとっており、小学校併願でなければ受験できない(つまり、小学校免許も取得しないと受験資格すらありません)ので、結局、幼稚園専門、保育士専門、地方公務員一般教養、SPI、小学校全科、教職教養、一般教養、個人面接、集団討論、小論文、指導案作成、模擬保育、弾き歌い、読み聞かせの受験が必要になりました。

京都市の幼稚園を受け、かつ併願する人は勉強しなければいけない量が膨大に増えるのでかなり大変ですが、地域にこだわりがなく、一発合格を目指すならいくつかの自治体の併願を私はお勧めします。

3) 試験までのこと

私は保育士資格を大学の履修ではなく、国家試験を受けて取得しました。それが採用試験の勉強の際に役に立ったと思います。採用試験と資格試験の内容がほぼ重なっており、実技試験に関してもピアノの弾き歌いなどの試験を資格試験で経験しておいたのは有利だったと思います！

採用試験の勉強は三月頃から始めましたが、部活がメインでゆっくり進める感じでした。また、私は三回生の春からずっと週一回、第一希望の自治体の幼稚園でボランティアをしていました。この経験は、面接ですごく役に立ちました。ボランティアをしているという事実

より、ボランティアの中で経験したことを話せることが非常に強みになったと思います。参考書に関して、京都市の小学校全科の対策で、東アカの分厚い参考書と問題集を買いましたが、他にしなければいけない勉強が多すぎて全然完璧にできませんでした。小学校専願の人にとっては東アカが良いかもしれませんが、幼稚園が第一希望なら絶対にもっと簡単な参考書が良いと思います。私は東アカの参考書をほぼできていませんでしたが一次試験は通過したので、東アカを完璧にする必要は全くありません。それをするくらいなら小学校全科はもっと簡単な参考書を買って完璧にして、他の勉強に時間を費やした方が効率的でかつ精神的にも良いです。

4) 一次試験

京都市は小学校専門、幼稚園専門、教職教養、一般教養、適性検査、個人面接があります。幼稚園受験者は他の校種とは異なり、連続して二日間あります！このことを知らず、木津川市を辞退することになりました…。京都市は面接が重要だったように感じます。京都市でボランティアをしていたので、ボランティア先にも定期的に来ているという面接官に詳しく質問をされました。(〇〇幼稚園の五歳児の今の姿をみて、もしあなたが担任なら今、どんな保育をするか等)

幼稚園専門の対策は幼稚園ランナーが適していると思います。

一般教養は勉強ゼロで受けました。教職教養は少しだけ参考書に目を通したくらいです。小学校全科は東アカでしましたが、詳細すぎて幼稚園専門の人には負担が大きすぎると思うので、他の参考書の方がいいと思います。

木津川市はSPIと適性検査でした。SPIはALCのものを二冊程二、三周しました。SPIは滋賀大生なら余裕です！適性検査に関しては対策要りません。

城陽市は適性検査のみです。試験前二日間だけ一応問題集をやりましたが、対策しなくても大丈夫です。

久御山町は保育士専門と、公務員一般教養と、適性検査と弾き歌い、読み聞かせでした。弾き歌いは事前に自分で選択できるのでピアノが弾けなくても練習して行けば大丈夫です。

明るい笑顔と楽しい雰囲気と大きな歌声がポイントです！読み聞かせは、お昼休みに絵本を選択し、絵本を読む前に子どもの気を引く導入をしてから読み始めるというものでした。私は「きつねのおはなし」の手遊びをして、「ぞうくんのさんぽ」を読みました。

5) 二次試験までのこと

京都市は指導案作成とピアノを使う模擬保育の対策が一番辛かったです。二次までの期間が短い為、幼児教育分野の先生の指導を受けられないまま試験を受けたので非常に不安でした。指導案の書き方は、京都市で働いておられる滋賀大のOGさんから教わりました。木津川市、久御山町、城陽市は滋賀大学の過去の受験データが一切無いので、小論文のテーマも文字数も、面接が集団か個人かも何もわからず受験し、不安だらけでした。

6) 二次試験

京都市は集団討論が一番緊張しました。一日中あるので疲れますが、頑張ってください。

久御山町はかなり圧迫面接でした。笑われたり、「そんなにうまくいきませんよ。」と言われたりしました。それでもめげずに最後まで戦ってください！面接の雰囲気は最悪でしたが合格していたので、どう対応するかを見られているのだと思います。作文は、「私のお気に入りの一冊」でした。難しいテーマで対策していたので拍子抜けでした。

城陽市は、五人で集団面接でした。二種類あり、一つ目は一人一人かなり深く掘り下げて大学で頑張ったことなどを質問され、二つ目は集団討論で、十月の園外保育計画を立てるというものでした。最後はまとめて一人が発表でした。集団討論はないと思っていたので驚きでしたが、京都市の対策でやっていたので落ち着いてできました。城陽市は三次試験までありました。個人面接でした。

6) 気をつけるべきこと

久御山町から内定をもらい、意向確認書を提出した為、城陽市は辞退するつもりでいましたが、城陽市の人事課の方から、「試験を受けるだけでもいいので来てほしい」「前向きに検討してほしい」と言っていたので、城陽市の三次試験も受験しました。城陽市でも内定をいただけたので、久御山町に内定辞退届を提出し、城陽市で働くことを決めました。

市によって意向確認書の内容は様々で、城陽市の意向確認書は辞退しないことを約束しなければいけないような内容だったので一度出したら辞退出来ないと思われそうです。(基本的に辞退は良くないです。)併願する際は最終合格発表日も考慮して、どこを優先してどこを辞退するのか考えておいた方がいいかもしれません。私はそれで悩みました。贅沢な悩みですが…！

7) さいごに

私はたくさん併願して結果として報われましたが、その分勉強しなければならない量は増えましたし、併願することでどの勉強も中途半端になり、どこも受からないのではないかと不安でした。ですが、今は、色んな対策をしたことで突然の場面指導や集団討論にも落ち着いて臨めたので、色んな練習をしておいて良かったと思っています。幼児教育職は教員に比べて採用数が圧倒的に少なく、倍率が10倍を超えるところも多いですが、挫けずに頑張ってください！

合格体験記 【保育園】

大津市 Y.Y. さん (音楽専攻)

はじめに

私は他の人よりも進路決定をするのが遅かったと思います。3回生の春学期から幼稚園教諭副免取得に向けて履修をはじめ、4回生の春学期に保育士資格試験を受験しました。また、小学校教員を目指すのか、幼稚園教諭、保育士を目指すのか、どこの市を受験するのか、など進路についてとても迷っていました。そのため、私が進路決定の際に参考にしたことなどについて、はじめにお話しします。

幼稚園教諭、保育士を目指そうと思った理由

私が保育士を目指したきっかけは、主に2つあります。1つ目は、3回生になる前の春休みに参加した、音楽療法のボランティアです。そこでわたしは、子どもたちと一緒に、手遊び歌を歌う活動をするのを、とても楽しく、幸せに思いました。そのことをきっかけに、3回生の春学期から、幼稚園教諭の副免取得に向けて授業を履修し始めました。

2つ目は、3回生の秋学期に参加していた、石山幼稚園のスクールサポーター活動です。その活動には、外部から先生に来ていただき、その先生と一緒に、子どもたちの様子や、子どもたちと関わる中で得た気づきなどを振り返る省察会がありました。私はその省察会で先生の話聞くことで、“子どもたちの言動の裏にある気持ちを理解しようとして、それらを受け止めながら一緒に成長していく”という保育のあり方を学び、そのようなあり方はとても魅力的だと思いました。これが、私が保育士を目指した理由です。

しかし、小学校教員という道も捨て難く、3回生の秋頃まで、進路を決めかねていました。そこで、教師塾(10月～1月頃)や、小学校スクールサポーター(3回生春学期)、幼稚園スクールサポーター(3回生秋学期)の経験などを通して、それぞれの仕事で求められることについて学び、自分に合っていると思った方を選びました。

私にとってスクールサポーター活動や、ボランティア、教師塾などに参加したことは、進路を決める上で、とても大切な経験となりました。

大津市の保育士採用試験を受けた理由

公立の幼稚園教諭、保育士の採用は、市ごとに行われます。採用の仕方や、試験内容は市によって異なります。大津市の採用試験を受けた理由や、進路決定において参考にしたことについてお話しします。

まず、大津市の保育士を受験した理由は、大きく2つあります。1つ目は、大津市の保育園では、昔から障害児保育が大切にされてきたということ、2つ目は、実際に大津市の保育

園でボランティアをする中で、子どもたちの興味を大切に、生きいきと保育をする保育者の方の姿を見たことです。

進路を決定する際に、行ったことは、

- ・市の HP などその市の特色を調べること。
- ・市に問い合わせ、過去の要項を送っていただくこと。
- ・実際にその市で働いている先輩に話を聞くこと。
- ・働きたい市でボランティアをすること。
- ・市の説明会に参加すること。

などです。

ALC には先輩方が残してくださっている過去の試験情報があります。そして、ボランティアは、実践論の先生に斡旋をしてもらいました。要項がでるのは毎年とても遅いです。そのため、事前に調べて試験についての情報を得る必要がありました。

保育士資格試験のこと

私は保育士資格取得を3回生の秋頃から目指し始めました。試験の内容や、勉強方法を簡単にお話します。

筆記試験（4/20 4/21）

保育原理、教育原理、社会的養護、児童家庭福祉、社会福祉、保育の心理学、子どもの保険、子どもの食と栄養、保育実習理論の9科目。

実技試験（6/30）

言語表現（素話）、音楽表現（弾き歌い）、造形表現（絵を描く）

筆記試験は10月頃から参考書（ユーキャン）を読み始めました。毎日、少しの時間でも、意味が分からなくても、とにかく目を通しました。その後、過去問、予想問題を2周ずつくらい解きました。その際は、様々な問題集を試しました。近年の過去問に出てきた問題が、実際の試験でも同じような問題として出題されていたため、近年の過去問を解くこと、見直すことは重要かもしれません。

大学時代にやっておいてよかったこと

次に、大学時代にやっておいてよかったことについて、大きく3つに分けてお話します。

1つ目は、“自分の好きなことに思い切り取り組む”ということです。私は、歌うことがと

でも好きで、大学では声楽を学び、大学内外で、好きな曲やオリジナル曲の弾き語りすることを続けていました。また音楽療法や、地域の夏祭り、クリスマス会などで、子どもたちや地域の方々に向けたコンサートを行うこともありました。そのようにして、好きなことに思い切り取り組んできたことは、分の強みになり、面接や、実技試験で生かすことができました。

2つ目は、子どもと関わる経験をするということです。私は、1回生の頃から、放課後等デイサービス（障害のある子どもたちが放課後などに過ごす場所）でアルバイトを続けてきました。また、音楽療法のボランティアに月に1、2回参加していました。他にも、大学に掲示されていたボランティア募集の張り紙を見たり、先輩に教えていただいたりして、様々なボランティアに参加しました。面接では、実際にボランティアなどを通して子どもと関わって感じたことや、保育者の方を見て感じたこと、学んだことなどを話しました。

3つ目は、人前に立つことや、人前で話す経験をしておくことです。わたしは、話すことが得意ではありませんでした。しかし、声楽のレッスンで、今の自分の課題や、一週間どのように工夫して練習に取り組んだのか、また、レッスンで得られた大切なことなどを、言葉にして先生に伝えることに取り組みました。また、ライブなどで人前で歌ったり、話したりすることで、人に何かを伝える時の心構えを学びました。このように、人前で話す機会を持つことは、面接で自信を持って話すことにつながりました。

採用試験について

採用試験のスケジュール、内容

7/26 実技試験

7/28 筆記試験（SPI）

8/19 二次試験

9/3 三次試験

採用試験の勉強方法

筆記試験(SPI)

大津市の採用試験は SPI の問題が出されます。SPI の国語と数学です。

[勉強方法]

わたしは、数学が苦手だったので、主に数学を勉強していました。

・解説がしっかりと書かれている問題集を2、3周解く。始めはすぐに解説を読んで解き方を覚え、それから次の日に何も見ずに同じ問題を解く。

- ・たくさん問題が載っている問題集を2周くらい解く。
- ・前日は、時間を測って過去問題を解いていました。

※試験の問題自体は難しくないのですが、問題数がたくさんあるので、解きやすい問題から、テンポよく解くことが必要でした。

(他の市も受けようか迷っていたため、数的処理の問題集もしていました。)

実技試験

①音楽リズム

ピアノの弾き歌いと身体表現（ダンス）。

弾き歌い課題曲:「ぞうさん」

ダンス課題曲:「世界中の子どもたちが」

試験の流れ

- ・1人ずつ別室に移動し、1分間弾き歌いの楽譜を見て、ダンスの曲を1回聞く。
- ・その後、弾き歌いの試験、ダンスの試験と別々の部屋に1人ずつ移動、試験。
- ・弾き歌いはその場でピアノを用いて1分間練習したのち、子どもと一緒に歌っているつもりで1番を弾き歌いする。ダンスは曲が流れ、その場で即興で振り付けをして踊る。

[対策方法（身体表現）]

部外秘に載っている、身体表現の試験で出題された曲などを中心に、即興で踊る練習する。

[気をつけること（身体表現）]

- ・実践論で体全体を動かし、部屋を大きく使う、ということをお話していただいたので、試験の部屋を大きく動きまわって踊った。

[対策方法（弾き歌い）]

・実践論でもらった楽譜、音楽研究室の林睦先生に貸していただいた楽譜、図書館にあった楽譜を使って練習をしていました。

- ・曲を覚えて、慣れてくると、1分で譜読みをして弾く、という練習をしていました。直前には林先生にも練習を見ていただいていた。

②言語

絵本を読む。(文字のない絵本)

- ・5冊ほど並んだ絵本の中から1分間で1冊選び、お話しと対象年齢を考える。
- ・その後試験官を子どもだと思って読み聞かせをする。

[対策方法]

- ・部外秘に載っている絵本を中心に、読み聞かせの練習。
- ・直前には友達と読み合いをしていた。

物語を考える際、地の文だけでなく、登場人物の言葉で話すことを意識して文章を考えると

いう、保育士資格試験の言語表現の試験対策が生かされたかもしれません。

素話が出された年などもあったため、ほかの市の試験問題も練習していました。また、文字のない絵本が出たのは初めてのことです。絵本の絵を見て、即興でお話しを考える練習などもいいかもしれません。

③造形

テーマ:保育園の近くにある森に住んでいる天狗から子どもたちに向けて、手紙と贈り物が届きました。その手紙と贈り物を作成し、どのように保育を展開していくのか、書いてください。(50分)

[注意すべきこと]

- ・材料を無駄なく使うこと
- ・片付けやすいように作業すること

に気を付けるといいそうです。

[対策方法]

- ・友達と一緒に時間を計ってテーマを決めてポスターなどを作成していました。
- ・部外秘に載っているものを元に、工作も少し練習していました。
- ・絵の練習をする時は、写真を見て、子どもたちの動きや表情を表現できるよう、練習していました。

(想定外のテーマだったため、これらの対策は今回はあまり意味はありませんでした。楽しく作成することを意識しました。)

二次試験

①個人面接

②専門面接

- ・どちらも個人面接で、試験官4人くらい。

①個人面接

市の職員の方(?)男の人4人くらい。

- ・なぜ民間じゃなく公立保育園を志望するのか。
- ・今までで1番困ったこと。
- ・どうして保育士になろうと思ったのか。

など。質問の答えに対する質問もされました。

②専門面接

保育士の方(?)女の人4人くらい。

・げんきくんと、ゆうきくんが積み木で遊んでいます。ゆうきくんは、げんきくんの作った積み木を壊してしまいます。げんきくんとゆうきくんはけんかになり、2人とも泣き出してしまいました。どうしますか。

・子どもの主体性を育む保育。何を大切にするのか。

・自分の特技をどう保育に生かしますか。

など。

[対策方法]

・友達(幼稚園教諭、保育士を目指す友達、同じ専攻の友達、大津市の公務員を目指す友達)と一緒に練習をしました。最初は話すことがまとまりませんでした。話しているうちに自分の言いたいことが整理されてきました。実習や、ボランティアで得たことなども、出し合い、とても勉強になりました。

・幼稚園、保育園を志望する理由、今までの経験(影響を受けた先生の話や出来事など)を書き出し、ノートに整理していました。

・家族にも聞いてもらっていました。自分のことをよく知ってくれている人に話すことで、見えてくることもありました。

三次試験

①集団面接

②個人面接

①集団面接

・志望理由(大津市、保育士、公立)

・誰にも負けないところ、それを高めて行くには(挙手順)

・プレッシャーを感じたこと

・保育士という仕事の魅力

など。

[気をつけたこと]

喋ることを絞って(1つの質問につき1つ)臨みました。

②個人面接

・大津市の保育の特徴は?

そんな大津市でどのような保育をしたい?

・今まで打ち込んできたこと

それをどう保育に生かす?

・人から言われた1番厳しかった言葉

どうしてそのように言われたと思う?

その反省、どう生かしていく?

など。

最後に

私は大学生活で、子どもたちと関わることも含め、好きなことに取り組んできました。なかなかうまくいかないこともたくさんありましたが、好きなことをとにかく続けてきたことが、大きな強みになりました。また、試験前に、ゼミの先生から『採用担当の方は「ステキな人と一緒に働きたいなあ」と思って、そのために時間をとってくださっています。ですから、感謝を忘れず、大切に時間を創って行ってください。』というお言葉をいただきました。試験のために準備をしてくださっている方への感謝を忘れず、時間を大切に創ろう、と考える取り組んだことで、余計な力が抜け、丁寧に取り組むことができたと思っています。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。進路決定、試験対策をする際に少しでも参考になると幸いです。

合格体験記 【公務員】

滋賀県庁 A.M.さん (学校心理専攻)

1. はじめに

私は教職に就くつもりで滋賀大学に入学しました。しかし、卒業後、4月から滋賀県庁で働かせて頂きます。公務員を目指す人はもちろん、教職と迷っている人にとっても参考になればと思い執筆させていただきます。

そして、今回私が受験した滋賀県庁のアピール型という特殊な試験についてもお伝えしたいと思います。少しでも皆様の参考になれば幸いです。

2. 職種・地域などの選択について

教職に就きたいという想いを持って入学した滋賀大学ですが、1,2回生の必修を受けているときもその想いは変わりませんでした。しかし、3回生のときにふと「本当に私は教員としてこれから一生働いていくのだろうか」と疑問を抱きました。

そして、学校という限られた範囲ではなく、幅広い年代のたくさんの人と関わっていきたいと思うようになり、公務員を目指すきっかけとなりました。

そして、生まれ育った滋賀県で働くことが「恩返し」になるのではないかと思い、滋賀県の公務員になろうと思いました。

3. 試験までのこと

私が公務員試験を受ける上で、とてもお力になって頂いた予備校についてお話したいと思います。恐らく公務員を目指す方は、予備校に行った方が良いのか非常に悩むと思うので、今回は予備校へ行って良かった点を紹介します。

予備校はLECで、3回生の9月末に通い始めました。

正直、気軽におすすめできるような値段ではありません。コースにもよりますが、私は約20万のコースを選択しました。もしかしたら、このお金が全て無駄になるかもしれないという不安はありましたが、逆に今の20万円が未来の自分への投資になるのだと思い込むことにし、予備校という選択をしました。

予備校に通ったことで公務員を目指す仲間ができ、先生方から手厚く指導も受けることができたので、本当に入ってよかったと思います。教養はもちろんですが、面接や小論文の指導も受けることができました。なにより公務員試験は情報収集が大変ですので、あらゆる情報が手に入るという点も予備校の良さであると思います。公務員試験ではいくつかの自治体を併願しますが、その自治体ごとの試験傾向や対策を教えてください。また、「エントリーシート締め切りが〇〇日だから、△△日まで完成させておこう」といった目安につ

いても教えてくれます。筆記試験の勉強に必死で、エントリーシートの締め切りを把握しきれないことがあったため、個人的に大変助かりました。

4. 内定までの流れ

○スケジュール

もともと、私は滋賀県の市役所を第一希望にしてスケジュールを組んでいました（滋賀県の市役所のほとんどが7月の同日に試験があります）。また併願先として、大学職員を考えていました（こちらは大学にもよりますが、春頃から試験が始まります）。その中で、予備校の先生に「SPIだから併願しやすいよ」ということで県庁のアピール試験型を教えてくださいました。結果的に私はこちらで内定を頂いたので、教えてもらって良かったなと思います。

〈3回生秋から4回生夏（合格）までのスケジュール〉

3回生

- 9月末 予備校に通い始める
- 10月 教養試験の勉強を始める
- 12月 ここから6月までほぼ月1回程度模試を受ける
- 3月 国立大学職員説明会に参加
エントリーシートを定期的に先生に見てもらい始める

4回生

- 4月 国立大学職員合同説明会に参加
- 5月 国立大学職員・滋賀県庁の申し込み開始
- 6月 大津市の説明会に参加
滋賀県庁 SPI 試験
- 7月 滋賀県庁 1次試験
- 8月 滋賀県庁 2次試験
合格通知をもらう

実は受験予定であった市役所と大学職員は、先に試験が始まっていた県庁の2次試験と被ってしまい併願することができませんでした。なので、県庁一本勝負ということになり、何が何でも合格を勝ち取らなければならないプレッシャーがありました。今回の私のようにならない為にもたくさん試験を受けた方が良いと思います。2次試験の日程が直前に発表される場合が多い為、被ってしまったときのことを考えて、県外も併願先として考えておいた方が安心かなと思います。

○アピール型とは

〈試験の流れ〉

SPI 試験

- ・ SPI
- ・ 事前に記入しておいた ES 提出

1 次試験 (SPI を通過した人が 1 次試験にすすめます。人数は全体の半分程度でした。)

- ・ ES をもとにプレゼンテーション
- ・ 個人面接

2 次

- ・ 小論文
- ・ 適性検査

2.5 次 (最終)

- ・ 集団討論
- ・ 個人面接

アピール試験型の特徴的な点は、プレゼンテーションがある点です。教育実習にいき、人前で話す経験が非常に役立ったなと思います。

5. さいごに

○後輩たちにメッセージ

私はあまり勉強が得意な方ではなく、またコツコツと 1 つのことをやり続けることが苦手です。けれど、試験までの数ヶ月頑張るだけで、未来は大きく変わるということを知りました。後輩のみなさんは、恐らく私よりもずっと勉強ができると思います。自信をもって取り組んで欲しいなと思います。また、私が受けたアピール型試験のように筆記だけではない様々な試験があるので、探してみてください。応援しています！

合格体験記 【公務員】

大津市役所 Y.K.さん (社会科教育専攻)

1. はじめに

私は大津市役所の上級事務職で内定をいただきました。私が就職先として大津市役所を選んだ理由は、大津市役所が教育に力を入れているからです。滋賀大学教育学部に入学した当初、私は当然のように教員になるつもりでいました。しかし、教育実習を通して、教育を支える側の仕事がしたいと考えるようになり、公務員の道を選択しました。

この就職体験記では、私が就職活動を通して得た知識とこれから試験を受けようとする後輩の皆さんにお伝えしたい事を述べていきます。

2. 就職活動の流れ

(1) 職業・地域などの選択, 内定までの流れ

私は3回生の教育実習を通して、教育を支えるような仕事に就きたいと考えるようになり、教員ではなく公務員になろうと決めました。なぜ公務員かという自分より成長させてくれるような仕事に就きたいと考えたからです。

地方公務員というのは一つの職に専念するのではなく、様々な職種の業務にあたります。これは一般にゼネラリストと呼ばれています。私の性格上、一つの角度から物事を見がちになり、もっと多様な見方がしたいと思っていました。そこで公務員のような様々な職種の業務にあたることにより、もっと自分の視野を広げたいと考えたのです。したがって地方公務員の道を選択しました。

また、私は京都府庁が第1志望でした。残念ながら2次試験で不合格となってしまったのですが、なぜ京都府を選んだのかという一番働きやすい環境であると思ったからです。私の知り合いが京都府の公務員として働いており、よく公務員の仕事のことについて話を聞いていました。また、ガイダンスにも積極的に参加したりして、直に京都府の職員の方と接してきました。そこで私はどの自治体の職員よりも京都府の職員の方々の人柄の良さについて実感することができました。この人たちと一緒に仕事がしたい。私はこのように思いはじめ、京都府庁を受験しようと決めるにいたりしました。

しかし、結果は不合格であり、その時はかなり落ち込んだりしました。そこで、なぜ京都府が不採用だったのか、と分析をしました。その時、私は志望動機が一番大切だということに気づきました。そこで改めてなぜ公務員になるのかと考えたとき、私は教育を支えたいという答えにたどり着きました。そこで大津市役所の教育行政につながったのです。大津市では、ご存じの方もおられるように、いじめ問題について積極的な取り組みを行っています。その取り組みに私も参加したい、そうすれば学校やそこで働く教職員を支えられるのではない

かと考え、大津市役所に就職することに決めました。

(2) 内定までのスケジュール

内定までのスケジュールは下記の通りです。

【3回生】

7月 公務員の情報を集め始める。(滋賀大学で開催された公務員予備校による公務員講座や官公庁の業務ガイダンスなどに参加)

9月 公務員予備校に通い始める。(教養と専門どちらも)

3月上旬 公務員予備校での学習で教養・専門ともに一通り学習終了。

3月下旬 公務員模試が始まる。(6月ごろまで月に1度)

【4回生】

5月 京都市役所・・・1次試験(個別面接)→不合格

6月 京都府庁・・・1次試験(教養・専門)→合格

7月 京都府庁・・・1次試験(集団面接)→合格

大津市役所・・・1次試験(SPI)→合格

8月 京都府庁・・・2次試験(集団討論, 個別面接, 論文)→不合格

大津市役所・・・2次試験(個別試験)→合格

大津市役所・・・3次試験(個別, 集団討論)→合格

9月 守山市役所・・・1次試験(教養)→合格

守山市役所・・・2次試験(集団面接)→合格, 後に3次試験辞退

大津市役所・・・4次試験(個別面接, 集団面接)→合格

3. 試験までのこと(筆記試験対策, 面接対策)

試験対策として、私は主に公務員予備校での学習を中心に行いました。したがって公務員予備校で学んだことを中心にこれから受験される皆さんにアドバイスできればと思います。

筆記試験ではとにかく過去問を徹底して行ってください。公務員試験では過去問とよく似た問題が出題されます。国家公務員試験, 地方公務員試験それぞれ科目の違いはありますが、基本とする憲法や民法, 経済学等の科目は同じです。それぞれの公務員試験の試験腫での過去問を活用し、勉強を進めてください。私も公務員予備校の参考書で知識をインプットし、過去問にてアウトプットする形の勉強法で進めていました。ちなみに、私は受験しませんでした。国家公務員試験を受験する方法も有効だと予備校の仲間から聞いています。国家公務員試験は4月にあるため本番に向けて良いリハーサルになるようです。

面接試験では自己分析と志望動機を重要視してください。必ず聞かれると思います。この志望動機と自己分析が他の質問への解答につながります。

なぜ、公務員試験なのか、なぜこの自治体を受けたのか、考えることにより自分がしたい仕事を見つけることにもつながります。必ず行いましょう。そして想定質問も考えておくと

いいでしょう。私は質問の深掘りとして、3回目程度まで想定していました。想定質問は実際の面接の様子も考えられるので良い方法だと思います。

4. さいごに

公務員試験は長期戦です。筆記試験に合格してからがスタートラインだという気持ちで丁度いいかと思います。面接試験は回数が多く、面接試験がある度に対策を行いました。これはすべて試験を終えてからの感想ですが、面接を受けるたびに面接の質が上がっていったと思います。やはり面接対策を何度もこなすことにより自己分析や志望動機について深く考えることができたからだだと思います。したがって、できるだけ多くの自治体の試験を積極的に受けてみることもおすすめします。

もちろん筆記試験対策も怠らず頑張ってもらいたいと思います。筆記試験で高得点を取る必要はありません。まず6割を目指してください。それで大抵の自治体の合格圏内に入ってくると思います。自分ができる科目を優先して、合計で6割とれるようにしてください。私自身は経済系の科目が得意だったため、経済系の科目を重点的に学習しました。このように計画的に勉強することが筆記試験では重要になってきます。

以上長くなりましたが、この合格体験記が少しでも皆さんの公務員試験対策の役に立てれば幸いです。

合格体験記 【民間企業】

株式会社滋賀銀行 R.M.さん（教育文化専攻）

1. はじめに

就職活動を始める前から就きたい職種が決まっている人、就職活動を始めてから職種を考える人、自分が何をしたいか、どういう職種が向いているかわからない人、皆さん様々だと思います。そして教育実習などもあり、多忙で就職活動に時間を割けないこともあると思いますが、焦りすぎると大事な情報や自身の長所が欠けることもあります。周りの人も皆さんと同じ「大学生」です。まずは肩の力を抜いて、焦らずじっくりと自身の進路について考えてほしいです。

2. 志望理由

まず、私が民間企業への就職を希望したのは、いきなり教職に就いても、他の職を理解していないまま、児童生徒に進路指導やキャリア教育を行うことはできないと考えたからです。実習校に、民間企業での実務経験を持った教員の方がおられて、そのような選択もあるのだと知ってから、民間企業への就職を考えだすようになりました。

また、滋賀銀行への就職を希望した理由は、私が就職活動の軸にしていた働き方やキャリアアップなどが一番合致していると感じたからです。金融の知識などは全く持ち合わせていませんが、人事採用の方もその部分ではなく、人となりが一番重視していると仰っていたので、臆せず選考採用に挑むことが出来ました。

3. 就職活動について

○合同企業説明会

自分がどのような職種に就きたいか分からない、どのような職種があるか分からないという人は、まずは合同企業説明会に参加してみると良いと思います。規模にもよりますが、大規模の合同企業説明会だと 100 以上の企業が参加しているものもあります。また、イベントを開催している就職支援会社が就職相談や ES・履歴書の添削等をブースで行っていることも多いので、それらも活用してみると良いのではないのでしょうか。

自分がどの職種に就きたいか決まっているという人も、同じ職種でも会社ごとの違いを見て、それぞれの長短所を見つけることで、会社を選ぶ決め手にもなり得るので、一度は参加してみると良いでしょう。

また、合同企業説明会は企業にとって宣伝・広告活動の場であって、選考の場では無いので、あまり気負わず、気軽に参加してみてください。

○インターンシップ・企業説明会

企業ごとのインターンシップや説明会では、仕事内容の説明や体験が主な活動になります。合同企業説明会よりも情報はさらに詳しくなりますが、紹介されるのは時間の関係上、一部であって、すべてではありません。疑問に思ったことは質疑応答の場や、インターンシップ終了後に必ず聞いておくことをお勧めします。企業を知ることによって皆さんの情報知識も増え、企業を選ぶ決め手や選考中のアピールポイントにつながります。また、希望の職種が決まっている人は、他の会社のインターンシップなども複数参加してみてください。合同企業説明会と同様、同じ職種でも会社ごとの違いを見られるほか、面接でもよく聞かれる、「ほかの会社もあった中で、なぜ当社を第1志望にしたのですか」という質問に答えられる、その企業の強みなども深く知ることができるでしょう。

また、インターンシップや説明会に気軽に参加するのも良いですが、その日は必ず何か一つは情報や学びを得て帰ることを心掛けておく方が良いと思います。企業側も営業日の1日を空けて皆さんを待っているのです、それだけは忘れないでください。

4. スケジュール

3 回生	6 月	夏休みの合同企業説明会やインターンシップの参加予約
	8～9 月	合同企業説明会、インターンシップに参加し、職種や企業を絞り込む
	11 月	志望する企業のフォローアップセミナーに参加
	1～2 月	志望する企業、同種の他企業のインターンシップに参加
		ES・履歴書、SPI、面接の練習に着手
	3 月	志望する企業や第2、第3候補の企業など、計38社にエントリー
ESを提出		
エントリーした企業の説明会などに参加し、候補をさらに絞り込む		
4 回生	4 月	志望する企業を2社に絞り、2社の選考課程のみを受ける
		SPI、面接などの選考
	5月上旬	第1志望の企業から内定を頂く、就職活動終了

企業によっては、6月ではなく、エントリー開始の3月から選考を始める企業もあるため、3月からは各企業の選考についての情報を逃さないよう、毎日リクナビやマイナビ、企業のホームページ等を確認することが大切です。

5. 就職活動上の注意

ESや履歴書は、志望理由や長所のアピールがメインになります。ここで注意して頂きた

いのが、熱意だけで ES や履歴書を書かないことです。例えば、「私はリーダーシップがあるので、御社に入社後はみんなをまとめて働いていけるとおもいます」と書いてあっても、企業側からは、具体的にイメージが湧いてきません。大切なのは、その人柄でどのような物事にどのように取り組んできたか、ということです。曖昧に長所を掲げるのではなく、その長所をどのように活かすことができるか、実際の事例をもとに展開できると、企業側もあなたの能力を理解することができるでしょう。

面接では、ES や履歴書に書いたことを元に質問が出されます。ES や履歴書に書いたことを忘れた状態で挑むと、必ずやり取りにズレが生じます。自身が書いたことなので、内容は覚えた状態で面接に挑みましょう。

また、教育学部では、他の学部や大学のように、学内で合同企業説明会や選考対策の講座などがほとんど開かれていません。就職活動にあたって、情報は命ともいえるべき重要なポイントになりますので、少し遠方でも合同企業説明会やインターンシップなどに足を運んだり、就職活動中に知り合った学生と情報交換をしたり、自分自身のために活動に取り組んでみてください。

6. さいごに

どれだけ必死に就職活動に取り組んでも、不安な気持ちが尽きないと思います。反対に、自身だけを持って取り組んでいる人はほとんどいません。採用の枠数に対してのエントリー数が 10 倍では済まない企業もあります。ですが、最初にも記述したとおり、周りの人も皆さんと同じ「大学生」です。気負いすぎる必要はありません。

しかし、卒業後のキャリアを決める、人によっては定年を迎えるまで働き続けるかもしれない重要な一歩目です。中途半端に挑んで、後悔だけは残さないように、必死に取り組んでいただきたいと思います。

また、就職活動に感じたことですが、他大学の学生の方も含めて、教育学部の学生は面接に強いと思います。授業で児童生徒の理解を得るために、難しい内容をそれぞれに合うレベルに噛み砕いて説明することは、面接であなたを知らない面接官に自己 PR することとよく似ていると思います。その点について、皆さんは長所になる部分を持ち合わせていると思いますので、強みを持って就職活動に取り組んでください。

最後になりますが、教育学部だから就職活動という選択がマイナスに感じるということはありません。それは皆さんの自身のための選択ですので、自身を持ってください。

この合格体験記が少しでも皆さんの助けになれば幸いです。皆さんの就職活動がうまく進むように願っております。

合格体験記 【民間企業】

コープしが N.I.さん (教育文化専攻)

1) はじめに

○コープしがを志望した経緯

私は小学生の頃から小学校の教員になりたいと思い、3回生で地域の小学校での実習を終えてすぐのときも小学校の教師になりたいと思っていましたが、実習先の先生方の帰宅時間が遅かったこと(20時を超えても働いていらっしやったこと)や部活の先輩(教員になった方々)のマイナスな話を聞いて、この先の人生を教師として生きていくことへの不安が募っていきました。また、教師になりたいという思いと同時にきちんと家事や子育てをしっかりとこなせる母になりたいという思いもあったので、結婚した後に教師の仕事が続けられるのだろうかという不安もありました。

そんな時に、3回生秋学期の藤村先生の一般教養の授業「教育と社会」を受けた際、一般企業の労働条件などを自分で調べていく中で、様々な会社が働き方改革を進め社員の働きやすい条件を整えていっているということを知りました。そこで、無理に教師に縛られなくとも生きやすい仕事があるのではないかと思い始め、まずは世の中にどんな仕事があるのか知ろうと思い、就職活動をはじめました。(このように考え始めたのは3回生に2月で、3月から募集開始だったのでぎりぎりでの決断です。)

まず、どんな業種、職種があるのか知るために、3月に合同説明会に行き、ほとんどすべての業種の話聞き、自分が興味を惹かれるポイントを理解し、受験する会社を絞っていきました。その結果私の仕事選びのポイントは、福利厚生が充実していて出産後も働きたいと思えるような条件であること、顧客と直接関われること、堅苦しい仕事でなく自分自身のユーモアを活かせること、実際に働いておられる従業員の方がいきいきとした表情であること、地元である滋賀県に貢献できるような仕事であること、などであることがわかり、それらの基準を最も満たしていたのがコープしがだったので志望しました。

○大学生生活

私は部活動でボートをしており、週5日練習に励みながら、アルバイトは塾講師と居酒屋をしていたためとてもハードな毎日で、インターンなどもいったことがありませんでした。ですが今となっては就活で話せるネタがたくさん得られたし、学生でしかできない経験だったなあと思い、部活をしていてよかったと実感しています。

2) 情報収集、説明会参加、エントリー

私自身、就活に切り替えたのが3回生の2月で、就活でどんなことをしたらいいかわか

ってなかったのであまり参考にならないかもしれません。

情報収集…まずはマイナビというアプリを入れて、合同説明会で気になった企業にエントリー（情報を見れるようにリストに入れること）した。

説明会…何回行ったか覚えてませんが、後悔しないように気になったところはすべて行ったと思います。（個別には20社くらい？）はじめにで書いた条件に近い業種で、ホテル、百貨店、滋賀の会社を中心に見てました。

エントリー（およそ）…プレエントリー30社、エントリー20社、内定3社（ホテル、コープしが、総合資格←建築系の資格学校の営業でこれは合同説明会で押されて最終まで進んだだけ）、コープしが以外のしっくりくるところがなかったため5月に内定をもらった時点で就活を終えました。

エントリーシート…基本的にどこの会社もエントリーシートに沿って質問をされるため、自信を持って説明できる内容を書いた方がいいです。私の場合はボート部に所属していたことでどのような工夫をして部員が頑張れるような環境づくりに励んでいたかなど書きました。たいていアルバイトの話が多かったのですが、みんな似たような内容を話しておられたので、審査員の興味を引く、独自の体験があると強いと思います。あと教育実習の話も面白がっておられた印象です。

3) 試験までのこと

大学生活は先ほども述べたように毎日のように部活動をして、アルバイトをして、の繰り返しでした。3回生になってからは就活などももしかするとするかもしれないと思い、どの活動をするにも、自分なりの工夫をして問題解決に取り組もうと意識して過ごしていました。例えば、部活動のしんどい練習を後輩たちにもできるだけ楽しんでやってほしいと考えて意識的にぼける役にまわったり、自分からご飯に誘ったりして雰囲気明るくしようとしていました。どうしたいか考えて行動したということは就活でも話せるネタだと思いません。

授業は教職に就くべきか迷っている人であれば一般教養の教育と社会を受けると視野が広がると思います。

課外活動は何をするのが正解というものはないですが、何をするにしても向上心を持って自分自身で考えて好きなことをしたらいいのではないのでしょうか。会社によってはSPI試験もあると思うので2か月前くらいから対策をするとよいと思います。しかし、大してSPIの結果を重視していないのではないかという会社もありました。（滋賀銀行はパソコンの操作が分からず数学の問題がほぼ手つかずで提出してしまったが、通った。）

4) 内定までの流れ

・スケジュール（コープしが）

3 / 21…一次選考（筆記試験（国語・数学）、小論文（あなたはコープしがに入ってどの

ように働いていきたいですか。600字～800字)、性格試験)

4月上旬…2次試験(面接:試験官3人、受験者2人)

4月中旬…3次試験(面接:試験官2人、受験者1人)

4月下旬…役員面接(面接:試験官5人、受験者1人)

○試験対策…コープしがの仕事内容や理念をしっかりと理解した上でなぜコープしがで働きたいのかを自分の中で整理した。また、実際に働いた時の姿を想像してどのように働きたいか考えた。

○面接で聞かれたこと

- ・志望動機と3年後10年後どのように働いていると想像するか
- ・大学時代に頑張ったこと、頑張って困難を乗り越えたこと
- ・コープの商品や働く人に対してどのような思い入れがあるか など

特徴的なこととして、受験生2人の面接ではお互いのことを知る時間を設けられて面接官に向けて他己紹介をさせられた。あと、変わった質問は、自分を動物に例えるならなにか、とその理由を答えるものや、昔親にしつけられたことで今でも守り続けていることはなにかといった内容があった。

どの企業でも聞きたいのは、本当に自身の会社に入りたいという熱意があるのかどうか、仕事内容を理解した上でどのように働きたいか考えているか、そして臨機応変に対応できるかどうか、だと思います。なんとなくで社名が有名だからなどの理由で受験するとどこの会社も受からないと思うので、まずは自分自身が何に興味があって、どんな風に生きていきたいのか理解する必要があるのではないのでしょうか。

○こぼれ話

・後日、人事部の方に受かった理由を聞く機会があって、「芯が通っている、明るく笑顔がいい、きちんと話を聞いている、物事を最後までやり通す意思がある、周りへの気遣いが出てきている、目を見て話せる、行動力がある」というところが評価されて受かったそうです。ちょっとした態度や人事の方との雑談も選考理由に入っているのだなと実感しました。

・東京に本社がある会社の最終面接まで行くと東京までの往復新幹線チケットがもらえてラッキーでした。

・就活はいろんなところへ足を運ばないといけないので大変ですが、各地のご飯屋さんを見つけて生きるいいに頑張っていました。なにか楽しみを見つけると前向きになれると思います。

7) さいごに

全体を振り返って、働きたいと思えるところに就職できてよかったです。はじめは会社の有

名さやなんとなくイメージがかっこいいところに惹かれていましたが、やっぱり自分自身に合っていて働くのがわくわくするようなところでない、まず試験も通らないのだと思います。あと、人事の人が表に立つことが多いですが、そうでない社員の方がいきいきと働いているか、顔が死んでないか、働いている人同士でギスギスしていないか、を見るのも重要なポイントではないかと思います。

今後は長く仕事を続けて自立した大人になること、結婚しても仕事と両方すること、地域の人に愛されるような人になることを目標に頑張りたいです。また、教育にも依然として関心があるので、ボランティアなどに参加して教育界に、子どもたちに何か少しでも力になればたらと思っています。

後輩たちへ

教育学部だからといって教師だけしか視野に入れないのは危険です。いろんな世界があるということを知った上で教員なり、企業だったり、自分の生きたい人生に適した道を選べばいいと思います。教育学部は就活に不利というのはただ、学校にいただけでは情報が入ってこないというだけで、面接などでは、コミュニケーション力があってまじめな印象を持たれることが多かったためむしろ有利だと思います。しかし、情報は自分から行動しなければ学校からはあまり入ってこないし、面接の練習もないです。でも、探せば面接のサポートを無料でしてくれる機関もあったので、まずは自分で能動的に動くことが大切です。

皆さんが自分の望むような人生を歩めるように応援しています。